

会議顛末・報告書

記録者	廣 田 裕 一						
供 覧	部 長	課 長	補 佐 ・ GL	課 員			
件 名	J R常磐線佐貫駅改称に関する意見交換会						
日 時	平成 27 年 5 月 24 日（日） 午後 3 時 40 分～5 時 15 分						
場 所	龍ヶ崎コミュニティセンター多目的室						
参加人数	44 人						
出席者	中山市長，川村副市長 松尾総合政策部長 事務局（企画課）：宮川課長，大貫課長補佐，沼崎係長，原田副主査，小崎主幹， 記録者						
内 容	1 開 会 2 市長挨拶 3 事務局説明 4 意見交換 5 閉 会 【資料】 「上野東京ラインの開通を好機とした J R 常磐線佐貫駅周辺の活性化と駅名改称」						
措置事項							
情報公開	公 開	非公開（一部非公開を含む）とする理由		（龍ヶ崎市情報公開条例第9条 号該当）			
	部分公開						
	非 公 開	公開が可能となる時期 （可能な範囲で記入）		年 月 日			

龍ヶ崎市総合政策部企画課

発言者	発言の内容
市民A	<p>JRの駅というのは、日本の自治体にとって重要な生命線だと思います。例えば、東京駅であれば、駅前に丸の内という街がありますが、もし、東京駅を丸の内駅にしたら知名度が落ちます。東京駅だからこそ、人が集まるのではないのでしょうか。龍ヶ崎市の佐貫駅というのも、東京駅が丸の内駅となるのと同じです。看板の駅に市の名前を使うことは世間の常識だと思います。市は、情熱をもってやっていただきたい。そして、この駅を中心に発展していければいいと思います。</p> <p>また、具体的な案として、市民が署名運動を起こして、関東鉄道に対し、関東鉄道竜ヶ崎線の竜ヶ崎駅の駅名を変更してもらえるようにすればいいと思います。その場合には、市長宛、JRの社長宛、関東鉄道宛の署名を3つ作ればいいと思います。龍ヶ崎市の発展があって関東鉄道が動いているのです。利用者である市民の何万人もの署名を集めれば、関東鉄道も心が動くのではないかと思います。</p>
市長	<p>駅名の持つ力の大きさというのは、ご指摘のとおりだと思います。JRの駅は全国ブランドであり大看板です。</p> <p>以前、常磐線の始発・終着駅として、「平」という駅がありました。今は、「いわき」に駅名を改称しました。そのおかげで、位置関係、場所がはつきり分かるようになりました。駅名の持つ力の大きさが分かります。</p> <p>また、市民運動は取り組みの後押しになりますし、JRにも刺激になります。市内には、駅名改称を推進している団体もありますし、立地している企業や工場長なども賛同していただいている方もおりますので、ぜひご支援をお願いしたいと思います。</p>
市民B	<p>4点伺います。1点目は人口問題についてです。平成27年度の予算の報告では平成33年に人口8万3,000人を目標に掲げていますが、これは、いつの時期に達成、目指せるのでしょうか。</p> <p>2点目は、資料図1の調査の出典である「まちづくり市民アンケート調査」の標本数と、属性として旧市内とニュータウンのバランス、例年の調査結果などを教えてください。</p> <p>3点目は、財源の想定についてです。市は、民営化の推進や人員削減などの行政改革を推し進め、28億円から61億円に基金を増やしていますが、その主な理由をお伺いします。</p> <p>4点目は、駅名改称についてです。市民が納得のいく駅名にしてほしいと思いますが、その駅名について公募をするのかどうかと、どのように決めていくのかをお伺いしたいと思います。</p>
市長	<p>はじめに、人口の件についてです。市の最上位計画では、将来（平成33年）の目標人口を8万3,000人と掲げております。本計画を策定した時も、当時の推計からは、実現不可能な数字ではないかとする指摘もありましたが、大きな夢と目標をもって取り組んでいくとの思いで、この目標人口を設定しました。</p> <p>しかし、実現するには難しい数字でありますので、次回の計画策定では、もう少し現実的な形で設定しつつも、マイナスな目標は避けて掲げていきたいと考えております。</p> <p>まだ、龍ヶ岡地区については、転入する方が多く、住宅の建設が増えていますが、これらの立地場所が少なくなると、人口も減少することになります。その問題を眺めているだけではなく、少しでも食い止め、人口増のきっかけになれ</p>

	<p>ばと思っていますし、駅名の方も借りたいと思っています。</p> <p>それから、駅名改称については、JRからの制約があります。長すぎる名前や、2つの地区を合わせた名前、東西南北も避けてほしいと言われています。また、「龍ヶ崎市駅」を候補とした理由ですが、常磐線の駅名には、地区名を付けたいと考えています。今の佐貫駅の駅名は、昔の馴柴村の佐貫地区であり、現在の地区名とは違います。駅名は「龍ヶ崎駅」が理想ですが、全体の市民の駅という意味で、愛着を持ちやすい「龍ヶ崎市駅」が最善と考えています。公募するという考えはありません。</p>
部 長	<p>まちづくり市民アンケートについてですが、対象は無作為抽出により4,000名です。アンケートの回収率は40%前後です。財源の理由についてですが、龍ヶ崎市は、平成13年度以降、行財政改革を進めてきました。市民生活に影響が及ばないように、職員数を減らして、内部の経費削減を行いました。自分たちの自己努力と国からの地方財政対策が相まって収支が改善されたものです。</p> <p>次に、人口の問題についてです。本年度、まち・ひと・しごと創生に基づき、市の人口ビジョンを策定していきます。この人口ビジョンとは、現状で推移した場合、将来はこういう状況になるといった現実をお見せした上で、それでは、今後はどうしていくか、何に取り組んでいくかというものであり、各種施策を踏まえながら、本市が目指す人口を設定していこうとするものです。全国的にも、人口が減少し、出生率も低いことから、仮に来年に出生率が向上しても、人口が増加するには数十年後になりますので、本市の将来人口目標8万3,000人は、今後のことを考えますと、修正する必要があると考えています。</p>
市民C	<p>二つの地区の名前は避けてほしいということですが、その理由は何でしょうか。他の駅名で二つの地区名をつけた新しい駅もあります。龍ヶ崎佐貫駅にすれば、反対されている方も、納得するのではないのでしょうか。</p>
市 長	<p>新駅の駅名の中には、二つの自治体の名前が入っている駅もありますが、自治体名と地区の2つから成る龍ヶ崎佐貫という名前は外から来た方たちに、誤解を生む可能性があります。当市では、自治体名をはっきりと示したいと考えています。</p>
市民D	<p>佐貫在住です。駅名改称には反対です。駅名を改称するだけで、市の名前が売れて、人口が増加するのでしょうか。何年のビジョンで考えているのですか。また、何年後かに失敗することはないですか。ビジョンしか描けないと思いますが、本当に成功するかどうか分からないのであれば、もっと龍ヶ崎市の中を魅力あるまちにした方がいいと思います。</p> <p>費用についても、本当に3億円で済むのでしょうか。もっと使い道があるのではないですか。駅周辺の整備や、今は少子高齢化でもあるので、高齢者の方に住みやすいまちづくりをしてほしい。駅名を変えることにこだわらなくてもいいと思います。駅名改称ということを、市民にどれくらい認知されているのですか。佐貫地区の人にはお話しているのでしょうか。</p>
市 長	<p>ご指摘のとおりで、駅名を変えた際は、その効果を出さなければならないと思います。市民の大切な税金を使うことになりますので、この予算は他の事業の阻害にならないようにしなければならないと考えています。龍ヶ崎市には、財政調整基金が20数億円あります。その中から、選択と集中により、基金を取り崩し、必要なことに使っていく。そして、また、基金を積み立てていくということが大切であると思います。</p> <p>もちろん、選択と集中をすべきことは、他にもあると思います。住みやすい、</p>

	<p>魅力あるまちづくりの取り組みはこれまでも続けてきましたし、冒頭の挨拶でも申し上げましたが、駅名改称は、これが目的ではありません。駅名改称とともに、様々な取り組みを進め、また、効果を出す取り組みも進めていかなければなりません。駅名改称は、龍ヶ崎市を住みやすく、魅力あるまちづくりを進める加速役になると考えています。当然、今までも、その取り組みを進めてきましたが、突き抜けられない壁がありました。それに閉塞感を持っている方もいると思います。私は、駅名改称はその壁を突き破る突破口になると思いますし、これからの市の魅力を向上させる、魅力あるまちをつくる起爆剤にしていきたいと考えています。</p> <p>伝統ある佐貫という地名がなくなるわけではありません。関東鉄道竜ヶ崎線の佐貫駅は残ります。その佐貫駅をはじめ、佐貫駅周辺については、これからも大切にしていかなければならないと考えています。これまでの60年は佐貫駅が市の玄関口でしたが、これからの60年は、市にとってどういう駅名にしていけばいいか、これを真剣に考えていかなければならないと思います。</p> <p>なお、佐貫地区の方々とは、この間、タウンミーティング等を通して、お話をさせていただいておりますが、これからも様々な形で対話を続ける努力をしてまいりたいと考えております。</p>
市民E	<p>駅名改称の費用は、もう少し下げられるのではないのでしょうか。</p> <p>それから、佐貫駅のホームは、大きく湾曲しているため、ホームと車両の間に大きな隙間と段差があります。これを改善して欲しいと思います。</p>
市長	<p>費用については、この間、JR東日本水戸支社と協議を重ね、出来るだけ費用が削減できる時期を調整してきました。仮に、市の単独での改称であれば6億3,000万円、ダイヤ改正時であれば5億4,000万円です。そして、消費税率改正時のタイミングであれば、JRも料金システムの改修などがありますので、約3億3,000万円ということになっています。</p> <p>また、佐貫駅のホームと車両の隙間と段差についてですが、危険な状態にあることは認識しております。JRに安全確保の要望をしていますが、構造上難しいとのことです。</p>
市民F	<p>10年20年後の将来を見越して考えてほしいです。今のままでは、危機的状況になると思います。人口減少が原因となり、イトーヨーカ堂や流通経済大学が市から撤退される恐れもあり、これを防いでほしいです。そのために、今出来ることは、駅名改称であり、龍ヶ崎市駅になることではないのでしょうか。費用がかかるのであれば、募金活動をやるべきです。駅名改称で恩恵を受けるのは市民、商工会会員、子どもたちになります。企業にも協力してもらったらいいいと思います。それから、駅名改称の横断幕や垂れ幕を駅前や街の中に出してアピールしてほしいと思います。</p>
市長	<p>行政主導であると、なかなか進まないのので、そのような募金などの取り組みをしていただければ、市民にもアピールできると思います。</p> <p>現在、市では、市内はもとより、市外の方にも、ふるさと納税の使い道を通して、駅名改称を広く周知しております。</p>
市民G	<p>牛久沼付近に道の駅の整備を検討しているとのことですが、道の駅には、龍ヶ崎という名前が付くと思いますので、常磐線の駅名も龍ヶ崎にしてほしいと思います。また、牛久沼も龍ヶ崎市にありますので、難しいとは思いますが、龍ヶ崎市の名前にしてほしいと思います。</p>
市長	<p>牛久沼は水面と岸は龍ヶ崎市ですが、誤解されることも多いです。最近のテレ</p>

	<p>びなどでは、牛久沼を牛久市のものとして取り上げていたこともありましたが。もちろん、牛久市も牛久沼を大事にされています。大事にすることはいいことだと思います。牛久沼については、つくば市、つくばみらい市、取手市などとも連携して、その魅力を高めていきたいと思っています。</p> <p>牛久沼の名前ですが、JRの駅名改称と違って、これを変えることは難しいと思います。私は、歴史と伝統があるので変える必要はないと思っています。</p> <p>道の駅については、駅名同様、龍ヶ崎という名前を入れるのは当然であると思います。4年後の国体開催に間に合わせるように取り組んでいきたいと思っています。その際には、愛称を付けて、例えば、牛久沼は夕日がきれいなので、道の駅龍ヶ崎夕日沼などがいいかなと思います。牛久沼は、魅力的な場所がたくさんありますので、名物になる道の駅になる可能性もあります。</p> <p>県外の方の中には、佐貫駅を牛久市にあると勘違いしている人もいますが、駅名を変えれば、その誤解もなくなると考えています。</p>
市民H	<p>駅名については、どちらに対しても愛着はありません。私は、龍ヶ崎市に移住して9年目になります。移住してきた時に、利根町と合併すると聞いたことがあります。龍ヶ崎市として見れば合併すると財政が悪くなる。利根町として見れば、名前がなくなるので反対したと聞いています。</p> <p>今、行政でやるべきことは、東日本大震災をうけて、トイレ、待機所、炊飯器などを備えた防災公園を整備した方がいいと思います。千葉県の柏市にある防災公園はとても広く、きちんと整備されています。</p> <p>それと、市の中で水道が通っていない家庭が多い気がしますが、水道の普及率はどのくらいあるのでしょうか。あと、保育園の問題です。保育園を無料化した方がいいと思います。負担が少なくなれば、若い世代の方を呼びかけになると思います。</p> <p>つくば市と土浦市が合併しようとしているように、龍ヶ崎市も取手市と合併したらどうでしょうか。まだまだ、市の考え方は小さいと思います。</p>
市長	<p>合併に関しては、政治的な背景が強かったと思います。合併直前で破綻してしまっただけで、私も残念に思っている一人です。行政の効率化を図っていくには必要なことだと思います。</p> <p>つくば市と土浦市の合併については、まだまだ現実となるのは難しいそうですが、一歩踏み出したことは、とても勇気のあることだと思います。</p> <p>今は合併特例法がなくなりましたので、合併のメリットを見出すことが難しい時代ですが、将来に向けた構想はまだまだ出てくると思います。</p> <p>行政サービスを落とさないで、効率化を進めていくことが、今後大切になってきます。それには、市民と民間企業の協力も必要になってきます。</p> <p>駅名改称の費用は、他の事業を阻害するものではありません。他の取り組みも平行して進めていきたいと考えています。</p> <p>保育園の無料化というのは、経常経費になります。毎年お金がかかるものです。無料にした場合、3億という予算は1年や2年で消えてしまいます。そして、また、その分の財源が必要となります。財源を確保するには、龍ヶ崎市の活性化が大切です。税金をもっと納めてもらう必要があります。</p> <p>水道については、これについては、県南水道企業団で行っています。自治体もバックアップはしていますが、自主運営でありますので、普及率に関しては、今ここでは分かりません。龍ヶ崎市は、農村部で住宅地が飛んでいるところもありますので、100%ではありませんが、低い数値ではないと思います。これから水道の普及率向上に向けて頑張っていきたいと思います。</p>

また、防災公園についてですが、龍ヶ崎市の場合は小学校とコミュニティセンターが避難場所として指定されています。また、市内には、木造の家屋が密集し、人口も多いことから、市街地の中心に、にぎわい広場を作りました。ここは、防災の機能も付加された施設となっています。

市としても、危機管理室を設置し、防災対策を強化し、一生懸命行っておりますが、これからも色々と研究していきたいと思います。

龍ヶ崎市の魅力を高めていきたいという思いで、市民の皆さんから様々なご意見やご提案をいただきました。駅名改称は、それらの取り組みと平行してやっていきたいと思います。未来に誇れる龍ヶ崎市になるよう、これからも対話を続けながら取り組んでまいりたいと思います。